

北から南から

いま、できること！ ～きっかけを作って訪問しよう

島根県松江市大庭地区高齢者クラブ連合会 ● 3クラブ ● 会員数 179名

若手を登用して魅力あるクラブづくり

大庭地区高連には、「松」「竹」「梅」の3クラブがあり、選出された22名で毎月評議員会を開催しています。これにあわせて、松江市地域包括支援センター等から講師を招いて研修を行っています。

また、平成29年から3年をかけて、若手会員の役員登用を図り、「毎年の新規入会20名」を目標に、75歳前後の方を対象とした魅力ある活動に取り組んでいます。その一つが、昨年度、新規事業として開催した「フォトコンテスト」です。出品作品28点の中から優秀作品を地域の文化祭に出展。会場で入会案内とポケットティッシュを配布してPRしたところ、4名の入会がありました。加入促進活動として、交通安全運動に際しても同様に取り組んでいます。他にも、喫茶店の空店舗を開放して毎月1回開催している「談笑会」は会員に好評です。

活動自粛下に毎月の訪問活動

今年度に入り、新型コロナウイルス感染予防のため、集まって活動することが難しいなか、役員



暑中見舞い訪問

会で話し合い、いろいろな「きっかけ」を作って訪問活動をすることにしました。

4月は、感染症予防のための啓発チラシを配布して情報提供。5月は、全会員へ手づくりマスクを配布しました。女性部を中心に、役員や家族、地域の学生にも声をかけて協力して作ったマスク312枚を会員179名の家（約150世帯）に評議員22名で届けました。心がけたのは「顔を見て一言声をかけること」。残りのマスクは、小学校、学童、幼稚園、民生委員、交通安全の指導員、公民館職員へ寄贈しました。こうした活動は、地元のマスコミにも取り上げられました。8月は、熱中症予防の啓発チラシと一緒に、水（2リットル）を会員一人に6本ずつ持参して、暑中見舞いの訪問活動を行っています。

これまでのようにできない活動もありますが、一人月100円の会費や補助金の他、自主財源づくりとして取り組んでいる公園の清掃活動による収入を活用して、見守り活動を強化して、会員に喜んでいただける、元気を出してもらえる活動をしたいと考えています。

（会長 荒木 邦典）



笑顔もいっしょに届けよう